

# Young Adult Books Best Selection

水巻図書館 2021.11

今月は外国が舞台のお話を集めてみました。

外国の10代の子たちはどんな学校生活を送っているのかな？生活の仕方や考え方って、どんな感じなんだろう？同じところ、違うところ・・・今まで知らなかった世界に気付くことができるかもしれません。

## 「シュクラーンぼくの友だち」(鈴木出版)

ドット・オルガッド/作、樋口範子/訳

\*\*\*\*\*  
アルゼンチンからイスラエルに移民してきたガブリエルと妹。地元のユダヤ人から、いじめを受ける彼は、アラブ人の少年ハミッドと仲良くなります。ところが、ハミッドの兄は爆弾テロを計画して・・・民族も宗教も違う二人の、強い絆が描かれた物語です。

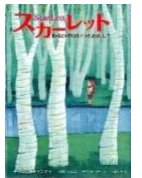
(舞台:イスラエル)



## 「スカーレット」 わるいのはいつもわたし? (偕成社)

キャシー・キャシディー/作、もりうち すみこ/訳、大高郁子/絵

\*\*\*\*\*  
ロンドンで怒りに満ちた毎日過ごす12歳のスカーレット。母親にも愛想をつかされ、離婚した父親の住むアイルランドへ行かされます。不満だらけで始まったアイルランドでの生活でしたが、美しい自然と新しい出会いの中で、スカーレットは次第に心を開いていきます。(舞台:イギリス・アイルランド)



## 「夜行バスにのって」(偕成社)

ウルフ・スタルク/作、遠藤美紀/訳

\*\*\*\*\*  
シクステンは父親と二人暮らし。母親が家を出て再婚してから、父親はひっきりなしにシクステンと一緒にいたがります。友人のヨンテから、父親も再婚した方がいいと、アドバイスを受けたシクステンは、父親にガールフレンドをみつけようと計画します。

(舞台:スウェーデン)



## 「ジュリアが糸をつむいだ日」(徳間書店)

リンダ・スー・パーク/作、ないとう ふみこ/訳、いちかわ なつこ/絵

\*\*\*\*\*  
7年生のジュリアは韓国系アメリカ人。母親の提案で、カイコを育て、生糸を取る自由研究をすることに・・・一緒にやる親友パトリックは乗り気ですが、ジュリアはアメリカ的な、アメリカ人らしい自由研究がしたいと思うのでした。

(舞台:アメリカ)



## 「ぼくたちは幽霊じゃない」(岩波書店)

ファブリツィオ・ガッティ/作、関口英子/訳

\*\*\*\*\*  
内戦や暴動、政情不安定なアルバニアからイタリアへ、ヴィキは母親と妹と共に命がけで海を渡りました。しかし滞在許可書が無い不法滞在者は、見つかるとうし出身国に帰されてしまいます。ヴィキと家族は新しい生活を切り開こうと懸命に努力します。

(舞台:イタリア)



## 「ぼくとリンダと庭の船」(偕成社)

ユルゲン・バンシェルス/作、若松宣子/訳

\*\*\*\*\*  
北ドイツに住むマリウスは、数学が人並み外れて得意な、しっかり者の少年。転校して来たリンダという女の子に、振り回されて迷惑しますが、頭は彼女の事でいっぱい。家庭でのストレスを抱えながらも、リンダに恋する事でマリウスの世界は広がっていきます。

(舞台:ドイツ)



## 「明日はきっとうまくいく」(早川書房)

ファイザー・ゲヌ/著、河村真紀子/訳

\*\*\*\*\*  
モロッコからの移民ドリアは、母親と二人暮らしの高校生。学校に友だちはいないし、おしゃれするお金もありません。それでもいい事があると信じて、母親と二人、前向きに生きています。フランス郊外に住む移民たちの生活が、ドリアの目を通してユーモアたっぷりに語られます。

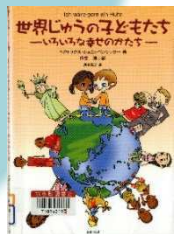
(舞台:フランス)



## 「世界じゅうの子どもたち」(主婦の友社)

ベアトリス・シュニッペンケッター/著、清水紀子/訳

\*\*\*\*\*  
世界にはたくさんの国があります。この本では、子どもたちが暮らすそれぞれの国と、彼らへのQ&Aが紹介されています。質問に答えている子どもたちの答えを読むと、世界には本当にいろいろな国があるのだと分かります。



## 「世界の外あそび学じてん」(今人舎)

こどもくらぶ/編さん

\*\*\*\*\*  
世界の外あそびは状況や環境の違いから、国によって様々。その一方で国が違っても、よく似た外あそびもたくさんあります。この本では、テーマごとに、色々な国の外あそび、あそびのポイントや面白さ、それぞれの国の情報が紹介されています。



## 「世界の郷土料理事典」(誠文堂新光社)

青木ゆり子/著

\*\*\*\*\*  
郷土料理は、その土地ならではの食材や調理法を工夫して伝承されてきた食べ物です。ここでは、全世界各国300地域の料理の材料・作り方更には、食文化や歴史なども紹介されています。今回紹介した本の、舞台となった国の料理もありますよ。

